

せんだい  
仙台市（宮城県）

# 震災の経験と教訓を生かした 「防災環境都市づくり」



仙台市東部沿岸地域のみどりの再生



東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。



仙台市長  
こおり かずこ  
郡 和子

東日本大震災の発生から10年。早期の復興を図るため、仙台市は被災地最短の5カ年の復興計画を定め、国内外からご支援をいただきながら、市民の皆さまと共に復興の歩みを進めてまいりました。

この間、巨大地震と津波を経験した唯一の100万都市として、第3回国連防災世界会議の開催や震災遺構仙台市立荒浜小学校の公開などにより、震災の経験と教訓を国内外に発信するとともに、減災を基本とする防災の再構築や再生可能エネルギーの活用など、防災性・環境性に優れた都市を目指す「防災環境都市づくり」に取り組んできたところです。

今後も本市基本計画2021-2030の理念「挑戦を続ける、新たな杜の都へ—“The Greenest City” SENDAI—」の下、世界からも選ばれる都市を目指してポテンシャルをさらに高め、東北全体の発展にも寄与してまいりたいと存じます。

次号は福島県本宮市です